

## SUAC公開講座 | 受 | 講 | 生 | 募 | 集 |

多文化社会で  
生ききる

12/6(土)

南米から人と文化を迎える

～日系人社会と浜松～

イシカワ エウニセ アケミ(国際文化学科 准教授)

12/13(土)

外国語としての日本語

広瀬 英史(国際文化学科 准教授)

12/20(土)

多文化社会に向かう日本

～韓国の変化を視野に～

池上 重弘(国際文化学科 教授)

1/10(土)

中東から国民国家を考える

徳増 克己(国際文化学科 准教授)

1/24(土)

日本とビルマ(ミャンマー)

～過去・現在・未来～

田辺 寿夫(外部講師 ジャーナリスト)

会場:静岡文化芸術大学(南棟280中講義室)

時間:13時30分～15時30分

静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター  
**平成20年度後期 SUAC公開講座受講生募集**

# 多文化社会で生きる

●会場：南棟2階280中講義室  
 ●時間：13時30分～15時30分（質疑応答・休憩含む）

12/6(土) **南米から人と文化を迎える**  
 ～日系人社会と浜松～

イシカワ エウニセ アケミ (国際文化学科 准教授)  
 今年はブラジルへの日本移民100周年ですが、ペルー、アルゼンチン、パラグアイ、ボリビアなど、南米のほかの多くの国々にも日本人が移住しています。それぞれの国で、日本移民は日本の文化を日系2世・3世に伝え、現地での日系人社会が築かれています。このような文化を持っている多くの日系人が、今度は来日することになり、浜松にも多く住むようになりました。ここでは、南米と浜松の関係に焦点を当てて、お話を進めます。

12/13(土) **外国語としての日本語**

広瀬 英史 (国際文化学科 准教授)  
 「外国語としての日本語」とは何か。それは外国語を日本語として見るという視点の意味します。ではその視点とはどのような視点でしょうか。それは日本語を客観的に眺める視点のことです。私を含め多くの人が、日本にいて、日本語だけに囲まれた生活の中で育ちました。このような環境では日本語を当たり前のように考えがちです。さらに、アウンの呼吸による日本語の会話でさえも、当たり前のように考えがちです。この講座では、一つ一つの具体例を取りあげて、「日本語に対する当たり前」に疑問を持ってもらいたいと思います。その疑問を通して、日本語を客観的に眺める視点というものに、触れてもらおうと思います。

12/20(土) **多文化社会に向かう日本**  
 ～韓国の変化を視野に～

池上 重弘 (国際文化学科 教授)  
 静岡県ではブラジル人の定住化が進み、かれらを日本社会の構成員としてどう受け入れるかが大きな社会的課題となっています。近年、雇用許可制度の開始と在韓外国人処遇基本法の制定によって外国人政策を大幅に転換した韓国の動向を視野に入れながら、日本における多文化共生のあり方を考えます。

1/10(土) **中東から国民国家を考える**

徳増 克己 (国際文化学科 准教授)  
 オスマン帝国に代表されるイスラーム諸王朝は、多様な住民を宗教共同体単位で掌握する「イスラームの家」という枠組の下で、古来の多言語・多宗教の地である中東地域をおおむね平和裏に支配してきました。国民＝民族という外来の発想が、この秩序にいかにか破壊的な効果をもたらすことになったかについて考えてみたいと思います。

1/24(土) **日本とビルマ(ミャンマー)**  
 ～過去・現在・未来～

田辺 寿夫 (外部講師 ジャーナリスト)  
 日本にはおよそ1万人のビルマ(ミャンマー)人が住んでいます。ビルマ人たちの多くは日本政府に保護を求め、難民認定を申請します。ここ数年、日本で難民として認められる外国人のうち8割以上はビルマ国籍者です。彼ら、彼女らの日本での母国民主化のための活動を追い、軍事政権下のビルマでなにが起こっているのか、民主化への展望はあるのかを考えたいと思います。



1. 受講資格 高校生以上
2. 募集定員 各講座120名程度(先着順)
3. 受講料 各講座(1回分)

受講者区分	金額	備考
一般・他大学生	1,000円	当日、受付時に現金にてお支払いください。
高校生・本学学生	無料	
通し受講(全5回)	3,500円	

振込依頼書をお送りしますので、払込手続きをお願いします。  
 事前に「全受講証」をお送りします。

**ACCESS**  
 [徒歩] JR浜松駅から徒歩15分。  
 [バス] 浜松駅バスターミナル  
 ■⑩番のりば遠鉄バス「文化芸術大学」下車  
 ■⑫番のりば循環まちバス「く・る・る」東ループ「文化芸大」下車  
 ■⑬番のりば循環まちバス「く・る・る」西ループ「文化芸大」下車



4. 受付期間 平成20年11月10日(月)より(定員になり次第締め切ります)
5. お申込方法 電話・FAX・E-mailのいずれかで下記宛にお申込みください。  
 ◎お申込みの際の必要事項は下記のとおりです。  
 ●氏名(フリガナ) ●郵便番号 ●住所 ●電話番号 ●受講者区分(一般・他大学生・高校生・本学学生)  
 ●受講希望日(通しでの受講をご希望の場合はその旨お申出ください)

6. お申込み・お問合せ先  
 〒430-8533 浜松市中区中央2-1-1 静岡文化芸術大学 企画室  
 TEL:053-457-6113 FAX:053-457-6123 E-mail:oubo@suac.ac.jp http://www.suac.ac.jp/

7. 特記事項  
 駐車場がありませんので、車での来場はご遠慮ください。(公共交通機関、又は他の駐車場をご利用ください。)  
 ※お申し込み頂いた個人情報は、本講座を実施するための連絡等に利用する他、各種講座のお知らせのために利用することがあります。



\*本学では、例年、「前期・後期公開講座」、「夏季・春季公開工房」、その他にもお楽しみいただける「特別公開講座」などを開催します。また通常の授業に参加することができる「社会人聴講生(前期・後期)」制度もあります。ぜひご参加ください。